

令和5年度療育キャンプ学生ボランティアへのアンケート結果

公益財団法人福岡県肢体不自由児協会

1 アンケート対象者

筋ジスキャンプ実参加6名、山キャンプ実参加9名、のべ15名(実14名) 7大学

2 アンケート期間

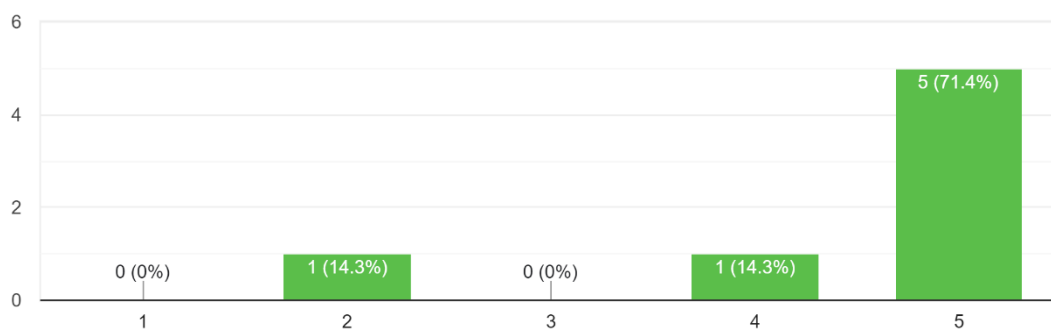
R5.9.8(金)～R5.10.5(木)

3 アンケート回収率

7名/14名=50.0%

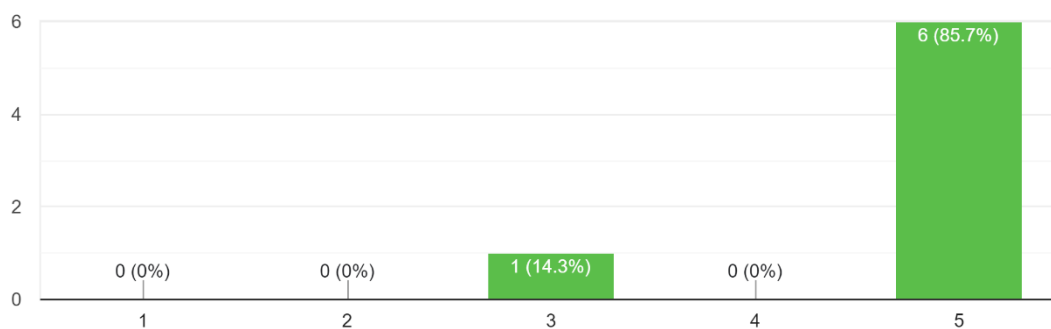
Q1 今回の療育キャンプのボランティアにはどのくらい満足されましたか。

7件の回答



Q2 ご自分の大学での学習との関連性や、就職等進路に役立つ部分がありましたか。

7件の回答



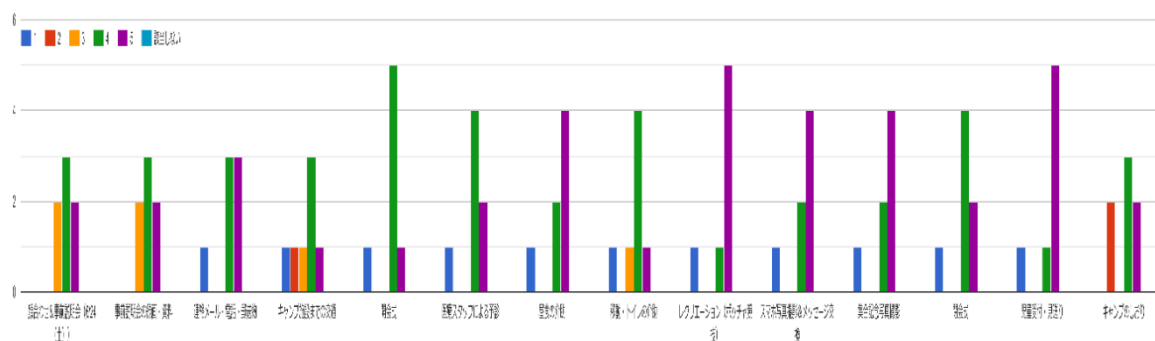
Q3 この療育キャンプでは、主にどのようなことを習得しましたか。7 件の回答

- ・子供たち一人一人に個性があること
- ・食事の介助や普段の生活の介助を習得した。また、その介助方法や介助が必要なことは人によって異なること。
- ・筋ジストロフィーの方に対する食事介助、実態に合わせてコミュニケーションを取ること、保護者とのコミュニケーションの取り方、他大学の人と協力する力を身に付けることができました。
- ・関わり方やコミュニケーションのとり方
- ・様々な活動を通して自分の関わり方 1 つで相手の反応が変わることを知り、適切な関わり方をするためにはどのような動きであったり言葉掛けをしたら良いのかなどを考えられるようになりました。他にもプログラムが変わったり、子どもの状態の変化など臨機応変に対応することができるようになったと思います。
- ・子どもの特性や薬の有無など情報共有の大切さ
- ・偏見をもつてはいけないということ

Q4 この療育キャンプに関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか（有意義でしたか（1点～5点））。（Q2 と関連）

各項目左から順に、「顔合わせ&事前説明会（6/24（土））」 「事前説明会の録画・資料」 「連絡メール・電話・郵送物」 「キャンプ施設までの交通」 「開会式」 「医療スタッフによる予診」 「昼食の介助」 「移動・トイレの介助」 「レクリエーション（ポッチャ競技）」 「スマホ写真撮影&メッセージ交換」 「集合写真撮影」 「閉会式」 「児童受付・見送り」

Q4 この療育キャンプに関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか（有意義でしたか）。（Q2と関連）



Q5 今回、学生チーフやサブチーフを決め、開会式・閉会式を進めていただきましたが、若い大学生の皆さんとのふれ合いを期待する肢体不自由の子どもたちのキャンプ運営に関して、ご意見、ご感想をお答えください。7 件の回答

・子供たちと最初に会った時戸惑いがあったけど、1 日関わっていくにつれて接し方や距離感のつめ方など理解して楽しむことができました

・事前にチーフ仕事を教えてほしかったです。前に出て発言するという良い機会を与えていただきありがとうございました。

・担当の子どもが決まっていたことで学生が主体となって、障害児との関りを深められたのがよかったです。また一人の子どもを 2 名の学生で担当するグループだったことで、2 人で協力したり、お互いに学び合ったりすることができました。大学での学びを実践することができ、とても貴重な経験で、教員採用試験の二次試験にも活かすことができました。私は 4 年生なので最初で最後の参加でしたが、コロナの影響でこれまでこのような機会がなかったので一度ではありましたが参加できて本当によかったです。ありがとうございました。

・急に司会などをやるということが分かってびっくりしましたが、キャンプに携わっているとじっかんできたし、人前で話すということができ、良い経験になりました。

・元々は学生のサークルで運営を行っていたと思いますが今年からは大学がバラバラで学生主体でキャンプを行っていくのは難しかったように思います。もっと集まる機会を増やして学生主体でできるようにしたいと思いました。

・経験したことを学生同士で教え合い、学生だけで運営できるように毎年続けられると良いと思います。

・関わる事が出来てよかった

Q6 今回のキャンプに参加して、ご自分としての反省点・改善点や失敗談をお答えください。7 件の回答

・なんでもやってあげたくなるけど子供たちができることをとってしまったらいけないこと

・担当の子どもがどこまでできるのか、どこに介助が必要なのかすぐにつかめなかったため必要な介助もしてしまったこと。

・障害をもつ子どもの保護者と関わるのは今回が初めての経験でした。介助の方法を保護者に確認しながら進められたのはよかったと思いますが、昼食の時などもっと会話を楽しめたらよかったなと思っています。保護者との関係作りは子どもの成長にも大きな影響があるので、保護者とのコミュニケーションが今後の課題だと思いました。肢体不自由の子どもと深く関わることも今回が初めてでした。リラクゼーションについても教えていただき、筋緊張が強い部位に気づき、適切な強さでマッサージすることの難しさが分かりました。4月から教員になるので、本などで知識を得たり、積極的に研修に参加したりしていきたいと思いました。

・参加されている方だけでなく、保護者の方と一緒にゲームをしたり昼食をたべたりと沢山関わることができ、特支の学校で先生をされている先生方から沢山アドバイスを頂き、とても勉強になりました。はじめてキャンプに参加する方に会った時にどうやって距離を近づけたらいいか分からなかったのも、変な質問や話ばかりしてたのも、もっと話題の引き出しを増やしたいと思います。

・自分は山キャンで学生チーフを任せましたが、期待に添えるような動きができなかったと感じました。そのため、もし来年参加出来たときはもう一度チーフを任せたいと思います！

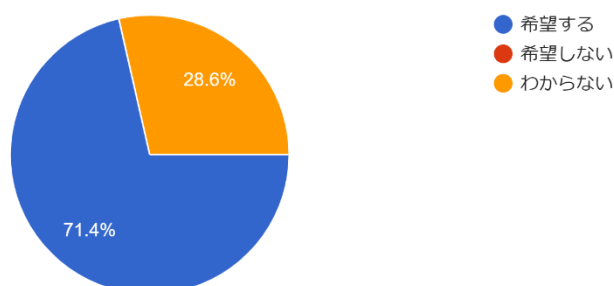
・担当以外の生徒に関わることが出来なかった生徒が何名かいたため、もっと積極的に関わりに行く必要があったと思う。

・出来ないと思い込んでてつだった

Q7

来年度は同時期に1泊2日のキャンプをそれぞれ...す。来年度のキャンプに参加を希望されますか。

7件の回答



Q8 本年度の事前説明会は、オンライン形式でした(2/3 がリアルタイム参加)が、来年度は、6月下旬の土曜日に、春日市のクローバープラザ内会議室あるいは福岡市内の大学の教室を借用して、集合開催をしたいと考えています(交通費は協会が負担)。日程、場所等など、ご意見をお答えください。7 件の回答

- ・夏休み、春日市はどうしても家から遠いため久留米市内の大学の教室を使用してほしいです
- ・期末テストに被らない日程で嬉しいです。公共交通機関を利用して行ける場所が嬉しいです。
- ・事前説明会で直接顔合わせができていると、キャンプ当日にもっとスムーズに他大学の人も打ち解けることができそうでいいと思います。6月下旬は教員採用試験直前ということが少し気になりますが、キャンプの約一カ月前に集合しておくことで準備も十分にできるのでいいと思います。
- ・早めに日程を教えて頂けたらそれ以外は特に意見はありません。
- ・特にありません。
- ・比較的行きやすく良いと思います。
- ・良いと思う

Q9 来年度は、1泊2日を通じたプログラムの中のレクリエーション活動について、協会が準備する仮設プール遊び、ボッチャ、キャンプファイヤーなどのほか、数コマを学生ボランティアの皆様が事前説明会后に主体的に自主企画し、材料等の事前準備(費用は協会負担)をしていただきたいと考えています。(紙工作の)金魚すくい、合唱、肝試しでも、子どもたちと楽しめるものなら何でもいいです。このことについて、コメントをご記入ください。7 件の回答

- ・お菓子パーティーをしたいです
- ・今回の経験でどんなことが難しいのか分かったため学生で企画して工夫した活動を行いたい。風船バレーはボールの落ちるスピードも遅く行きやすいのではないかと考えました。

・学生ボランティアが中心となって企画するレクリエーションやってみたいです。さらに学生主体のキャンプとなり、学生同士の協働の機会にもなり、将来に生きる貴重な経験になると思います。キャンプ当日とは別に、この自主企画にもチーフ、サブチーフがいるとより多くの学生が役割を持つことができ、学生同士が協力できそうだと思います。

・とてもやってみたいとおもいます。

・1泊2日のため、多くのレクリエーションがあれば楽しいと思います。他のボランティアで行ったことではありますがミニ運動会などの簡単な競技(輪投げやフリスビーなど)をいくつか作り、人数が多ければチーム戦、少なければ個人戦のように楽しめるのではないかと思います。

・参加する生徒にとっても、ボランティアの学生にとってもとても良い経験になる素晴らしい機会だと思います。参加者全員が楽しめる工夫や運営面などを学生ボランティア同士で意見を交わしながら練ることができるのでぜひ実践していただきたいと思います。

・夏祭り

Q10 その他、療育キャンプの運営やボランティア活動全般について、ご意見があればどんなことでも構いませんのでご記入ください。2件の回答

・久留米市内で行って欲しいです

・今回初めて参加できましたがとても楽しく、有意義なボランティアだったと思っています。私はあと1年しか無いため、大学1年生の頃から参加できてたら、と少し残念に思います。